

**令和元年度 事務事業総点検シート(1)**  
**[平成30年度事務事業]**

<b>一般会計</b>		<b>事務事業分類</b>	<b>詳細点検</b>
<b>事務事業名</b>	特定道路バリアフリー化事業	<b>シート番号</b>	D 建設・整備事業
<b>担当部署名</b>	建設 局 道路 部 道路整備 課	<b>評価責任者(課長名)</b>	金谷

**Ⅰ. 基本情報**

<b>基本情報</b>	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	有	
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	道路法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)				
	4	関連計画	堺市バリアフリー道路特定事業計画				
5	事業実施の経緯	平成13～15年度策定の堺市交通バリアフリー基本構想および平成27年度策定の堺市バリアフリー基本構想の道路特定事業計画に基づく特定道路の整備					

**Ⅱ. 事業概要**

<b>事業概要</b>	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	堺市が管理する市道、府道、国道(直轄国道を除く)のうち特定道路に指定されている区間の道路利用者			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	超高齢社会の到来とともに、だれもが移動しやすく安全・快適で活力のあるまちづくりを目指す。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	この計画の特定道路においては、歩道の段差・勾配・障害物の移設等の改良及び視覚障害者用誘導ブロックの設置等を行う。			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 業務並びに工事の受注者			

**Ⅲ. 投入量**

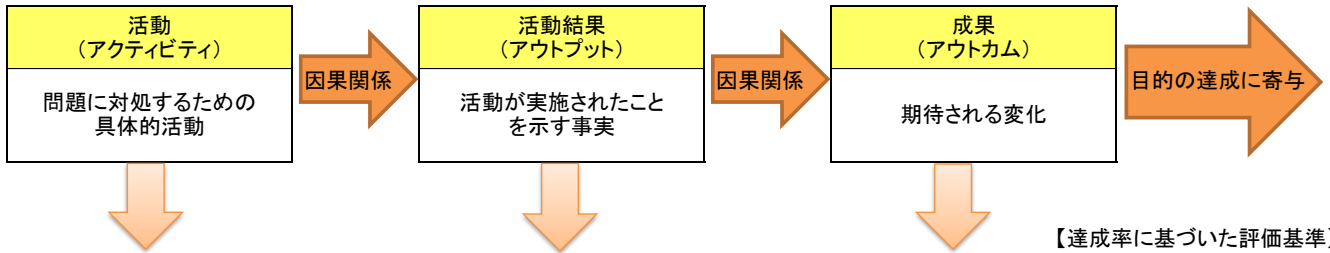
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
<b>事業コスト</b>	11 事業費 (a)	千円	153,744	233,254	109,063	97,338	
	主な事業費内訳	歩道等調査設計費	千円	3,975	10,229	6,185	
		歩道等工事費	千円	149,769	223,025	102,878	97,338
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	42,479	71,063	43,120	35,920
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円	97,758	148,700	59,100	54,900
		その他( )	千円				
		一般財源	千円	13,507	13,491	6,843	6,518
12	人件費 (b)	千円	24,600	24,600	24,600	20,250	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	178,344	257,854	133,663	117,588	

# 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	特定道路バリアフリー化事業	シート番号	19-55
-------	---------------	-------	-------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

### 事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>平成30年度は、桃山台61号線 L=100m、桃山台62号線 L=300m、赤坂台庭代台線 L=300m、府道大阪高石線(現)L=200mの約1.0kmのバリアフリー化工事を完了させた。 この結果、特定道路のバリアフリー化率は95%となり、だれもが移動しやすく安全・快適で活力のあるまちづくりに寄与した。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		特定道路バリアフリー化実施延長	%	目標値	95	97	95	97
				実績値	95	97	95	
				達成率	100%	100%	100%	
	評価			良い	良い	良い		
	算出方法・設定根拠など		堺市バリアフリー道路特定事業計画に基づき、令和2年度特定道路バリアフリー化率100%を目標に設定。(整備地区の追加に伴い、平成30年度から特定道路の総延長を変更45.0km→47.8km)					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値				
				実績値				
				達成率				
	評価							
	算出方法・設定根拠など							

### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>目標を達成できた。 計画的に遂行されており、概ね順調に推移している。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。